

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公開番号】特開2009-165687(P2009-165687A)
 【公開日】平成21年7月30日(2009.7.30)
 【年通号数】公開・登録公報2009-030
 【出願番号】特願2008-7800(P2008-7800)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月26日(2010.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤に形成された遊技領域に向かって遊技球を打ち出す打球発射装置と、
 前記遊技領域に設けられ、かつ、前記打球発射装置によって打ち出された遊技球が入球可能な始動入賞口と、

前記打球発射装置によって打ち出された遊技球を可動部材の開閉動作によって受け入れ可能とする可変入賞装置と、

該可変入賞装置の可動部材の開閉動作によって当該可変入賞装置に受け入れられた遊技球が入球可能な特定入賞口が設けられ、かつ、予め定めた方向に移動可能な可動役物を備える可動役物装置と、

前記打球発射装置によって打ち出された遊技球が前記始動入賞口に入球したことを契機として前記可動入賞装置の可動部材の開閉動作を制御するとともに、該可動部材の開閉動作によって当該可変入賞装置に受け入れられた遊技球がさらに前記可動役物装置に備える前記可動役物に設けられた前記特定入賞口に入球したことを契機として遊技者に対して特別な利益を付与する特別有利遊技状態への移行を制御する上位制御基板と、

該上位制御基板からの各種コマンドに基づいて演出装置による各種演出を制御する下位制御基板と、

を備えるパチンコ遊技機であって、

前記可動役物装置は、さらに、

電氣的駆動源からの出力を変換して前記可動役物を移動させる移動機構と、

予め定めた距離だけ離反して配置されて前記可動役物の位置を検出する第1の位置検出センサ及び第2の位置検出センサと、

を備え、前記可動役物は、前記第1の位置検出センサと前記第2の位置検出センサとが配置される前記予め定めた距離を往復移動範囲として往復移動可能であり、

前記上位制御基板は、少なくとも、

前記可動役物装置の電氣的駆動源を制御して前記可動役物を繰り返し往復移動させる可

動役物往復移動制御手段と、

前記第1の位置検出センサからの検出信号が入力されるとその旨を前記下位制御基板に伝える第1の位置検出センサ検知コマンドを生成する一方、前記第2の位置検出センサからの検出信号が入力されるとその旨を前記下位制御基板に伝える第2の位置検出センサ検知コマンドを生成する位置検出センサ検知コマンド生成手段と、

を備え、

前記下位制御基板は、少なくとも、

前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であるか否かを判定する可動役物移動困難判定制御手段と、

該可動役物移動困難判定制御手段によって前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定された際に、当該可動役物の移動が移動困難となっている旨を予め定めた態様で前記演出装置を制御して報知する可動役物移動困難報知制御手段と、

を備え、

前記可動役物移動困難判定制御手段は、前記上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを受信してから予め定めた期間内に、当該上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを受信できないときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定し、又は、前記上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを受信してから前記予め定めた期間内に、当該上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを受信できないときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定することを特徴とするパチンコ遊技機。

【請求項2】

前記可動役物移動困難判定制御手段は、前記上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを受信してから前記予め定めた期間内に、当該上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを再び受信したときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定し、又は、前記上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを受信してから前記予め定めた期間内に、当該上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを再び受信したときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定することを特徴とする請求項1に記載のパチンコ遊技機。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のパチンコ遊技機であって、

前記演出装置は、少なくとも、

各種演出に合わせて発光可能であるとともに、当該パチンコ遊技機の各種不具合ごとに予め個別に発光可能な複数の装飾ランプ

を備え、

前記可動役物移動困難報知制御手段は、前記可動役物移動困難判定制御手段によって前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定された際に、前記複数の装飾ランプのうち、当該可動役物の移動が移動困難となっている旨を伝える装飾ランプを発光させて報知することを特徴とするパチンコ遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述の目的を達成するための有効な解決手段を以下に示す。なお、必要に応じてその作用等の説明を行う。また、理解の容易のため、発明の実施の形態において対応する構成等についても適宜示すが、何ら限定されるものではない。

(解決手段1)

遊技盤に形成された遊技領域に向かって遊技球を打ち出す打球発射装置と、前記遊技領域に設けられ、かつ、前記打球発射装置によって打ち出された遊技球が入球可能な始動入賞口と、前記打球発射装置によって打ち出された遊技球を可動部材の開閉動作によって受け入れ可能とする可変入賞装置と、該可変入賞装置の可動部材の開閉動作によって当該可変入賞装置に受け入れられた遊技球が入球可能な特定入賞口が設けられ、かつ、予め定められた方向に移動可能な可動役物を備える可動役物装置と、前記打球発射装置によって打ち出された遊技球が前記始動入賞口に入球したことを契機として前記可動入賞装置の可動部材の開閉動作を制御するとともに、該可動部材の開閉動作によって当該可変入賞装置に受け入れられた遊技球がさらに前記可動役物装置に備える前記可動役物に設けられた前記特定入賞口に入球したことを契機として遊技者に対して特別な利益を付与する特別有利遊技状態への移行を制御する上位制御基板と、該上位制御基板からの各種コマンドに基づいて演出装置による各種演出を制御する下位制御基板と、を備えるパチンコ遊技機であって、前記可動役物装置は、さらに、電氣的駆動源からの出力を変換して前記可動役物を移動させる移動機構と、予め定められた距離だけ離反して配置されて前記可動役物の位置を検出する第1の位置検出センサ及び第2の位置検出センサと、を備え、前記可動役物は、前記第1の位置検出センサと前記第2の位置検出センサとが配置される前記予め定められた距離を往復移動範囲として往復移動可能であり、前記上位制御基板は、少なくとも、前記可動役物装置の電氣的駆動源を制御して前記可動役物を繰り返し往復移動させる可動役物往復移動制御手段と、前記第1の位置検出センサからの検出信号が入力されるとその旨を前記下位制御基板に伝える第1の位置検出センサ検知コマンドを生成する一方、前記第2の位置検出センサからの検出信号が入力されるとその旨を前記下位制御基板に伝える第2の位置検出センサ検知コマンドを生成する位置検出センサ検知コマンド生成手段と、を備え、前記下位制御基板は、少なくとも、前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であるか否かを判定する可動役物移動困難判定制御手段と、該可動役物移動困難判定制御手段によって前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定された際に、当該可動役物の移動が移動困難となっている旨を予め定められた態様で前記演出装置を制御して報知する可動役物移動困難報知制御手段と、を備え、前記可動役物移動困難判定制御手段は、前記上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを受信してから予め定められた期間内に、当該上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを受信できないときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定し、又は、前記上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを受信してから前記予め定められた期間内に、当該上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを受信できないときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定することを特徴とするパチンコ遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(解決手段2)

解決手段1に記載のパチンコ遊技機であって、前記可動役物移動困難判定制御手段は、前記上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを受信してから前記予め定められた期間内に、当該上位制御基板からの前記第1の位置検出センサ検知コマンドを再び受信したときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定し、又は、前記上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを受信してから前記予め定められた期間内に、当該上位制御基板からの前記第2の位置検出センサ検知コマンドを再び受信したときには前記可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判定することを特徴とするパチンコ遊技機。可動役物の往復移動範囲の両端に配置された第1の位置

検出センサの位置や第2の位置検出センサの位置において、電氣的駆動源や移動機構等に不具合が生じて可動役物の往復移動範囲を可動役物が移動困難となった場合、又は、ピアノ線や針金等による不正具を用いて可動役物の移動を妨げて可動役物の位置を固定させる不正行為が行われる場合は、第1の位置検出センサからの検出信号又は第2の位置検出センサからの検出信号が上位制御基板に常に入力された状態となる。このような状態となると、上位制御基板は、第1の位置検出センサからの検出信号に基づいて第1の位置検出センサ検知コマンドを生成して下位制御基板に送信すると、続いて再び第1の位置検出センサからの検出信号に基づいて第1の位置検出センサ検知コマンドを生成して下位制御基板に送信するため、つまり第2の位置検出センサからの検出信号が入力されないため、いつまでたっても第2の位置検出センサ検知コマンドを生成して下位制御基板に送信することができなくなったり、又は、第2の位置検出センサからの検出信号に基づいて第2の位置検出センサ検知コマンドを生成して下位制御基板に送信すると、続いて再び第2の位置検出センサからの検出信号に基づいて第2の位置検出センサ検知コマンドを生成して下位制御基板に送信するため、つまり第1の位置検出センサからの検出信号が入力されないため、いつまでたっても第1の位置検出センサ検知コマンドを生成して下位制御基板に送信することができなくなったりする。これにより、下位制御基板は、第1の位置検出センサ検知コマンドを受信してから予め定めた期間内に、再び第1の位置検出センサ検知コマンドを受信するとき、又は、第2の位置検出センサ検知コマンドを受信してから予め定めた期間内に、再び第2の位置検出センサ検知コマンドを受信するときには、可動役物の移動が移動困難となっている状態であると判断し、その旨を予め定めた態様で演出装置を制御して報知するようになっている。可動役物の往復移動範囲の両端に配置された第1の位置検出センサからの検出信号や第2の位置検出センサの位置において、可動役物の移動が移動困難となる場合は、可動役物の移動が移動困難となっていない状態において、可動役物の往復移動範囲を、可動役物が往路に費やす時間又は復路に費やす時間より極めて少ない時間で、下位制御基板が第1の位置検出センサ検知コマンド又は第2の位置検出センサ検知コマンドを繰り返し受信することとなる。したがって、可動役物の移動に不具合が生じていてから短時間で又は可動役物の移動が不正行為によって妨げられてから短時間で可動役物の移動が移動困難となっている旨をホールの店員等に報知することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の請求項1においては、可動役物の移動に不具合が生じている旨又は可動役物の移動が不正行為によって妨げられている旨をホールの店員等に報知することができる。請求項2においては、可動役物の移動に不具合が生じてから短時間で又は可動役物の移動が不正行為によって妨げられてから短時間で可動役物の移動が移動困難となっている旨をホールの店員等に報知することができる。請求項3においては、複数の装飾ランプの発光する機能を、各種演出に合わせて発光する機能と、パチンコ遊技機の各種不具合を発光して報知する機能と、に切り替えることができる。